

平成 22 年度 山口県立大学 公開講座

# やまぐちの文学

山口県にゆかりのある文学をもう一度見直し、郷土の文学への理解を深めていただく機会になれば幸いです。

日時

平成 22 年 6 月 12 日 (土) ~ 7 月 3 日 (土)

10:30~12:00 (毎週土曜日 全 4 回)

受講料無料

会場

山口県立山口図書館 第 1 研修室 (〒753-0083 山口市後河原 150-1)

回	日時	テーマおよび講座内容	講師
1	6 月 12 日 (土) 10:30~12:00	<b>山口の女性作家たち</b> 江戸期の俳人田上菊舎をはじめ、山口出身や、ゆかりのすぐれた女性文学者たちは意外に多数多彩なのです。資料センター収蔵の貴重な第一級資料を基に、その業績・作品・人物像を探ってみましょう。恋も涙も笑いも…。	山口県立大学名誉教授 福田 百合子
2	6 月 19 日 (土) 10:30~12:00	<b>嘉村礪多とやまぐち</b> 嘉村礪多は、山口市仁保出身の私小説作家です。嘉村が、大正から昭和初期に〈立身出世〉をめざして東京に向かっていったことに着目しながら、嘉村文学の世界について考えることが出来ればと思います。	郷土文学資料センター 研究員 加藤 禎行
3	6 月 26 日 (土) 10:30~12:00	<b>江戸時代の小説に描かれた大内氏</b> 中世末期に滅亡した戦国大名・大内氏ですが、江戸時代の複数の小説にその名が見えます。いずれも虚構(フィクション)なのですが、その描かれ方には特色があるようです。この点を追求しながら、江戸時代の小説を味わってみましょう。	郷土文学資料センター 研究員 木越 俊介
4	7 月 3 日 (土) 10:30~12:00	<b>山口市に伝わる鷺流狂言</b> 山口市には、全国でも珍しい鷺流狂言が伝承されています。祇園祭の「鷺の舞」と混同されている方も多いのですが、この機会に、全く異なる芸能であることを知っていただければと思います。ビデオ映像による鑑賞も行います。	郷土文学資料センター 所長 稲田 秀雄

定員

45 人 (応募者多数の場合は抽選となります。)

受講方法

原則全講座受講としますが部分受講も可。全講座を受講された方には修了証を授与します。

申込方法

はがき、電話または FAX で、住所・氏名・電話番号を下記の申込先までお知らせください。

◆お問い合わせ・申込先◆

〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2-1 山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

TEL・FAX 083-928-3495

締切

平成 22 年 6 月 1 日 (火)

受講通知

講座開始前頃、各自へお知らせします。

多数のご参加をお待ちしています

〈主催〉山口県立大学

〈共催〉山口県立山口図書館

〈後援〉山口県立大学同窓会桜園会山口支部